

平成27年度第1回名張市快適環境審議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成27年11月30日（月） 午前10時から午後0時10分

2. 開催場所 名張市役所2階 庁議室

3. 出席者

委員 加藤 進
朴 恵淑
清水 敏代
森田 宏
今村 洋子
田畑 博
辻森 保藏
福田 尚子
福廣 勝介

事務局	生活環境部長	藤岡 善光
	生活環境政策室長	関森 弘康
	環境対策室長	藤野 泰司
	生活環境政策室	平尾美津代
	環境対策室	雪岡いのり

4. 内容

- (1) 会長及び副会長の選任
- (2) 快適環境基本計画の諮問
- (3) 会長・副会長あいさつ
- (4) 快適環境基本計画の策定について
- (5) 快適環境基本計画（たたき台）について
- (6) 報告
 - ①第二次なばり快適環境プラン実行計画平成26年度成果報告について
 - ②平成26年度名張市EMS取組状況報告について
- (7) その他

（1）会長及び副会長の選任

○事務局

はじめに、名張市快適環境審議会規則第4条第1項に基づきまして、会長及び副会長の選任をさせていただきます。会長及び副会長は委員の皆様の互選により定めることとしておりますが、いかがいたしましょうか。

○委員

事務局の案はどのようになっていますか。

○事務局

ありがとうございます。

事務局といたしましては、会長に朴委員、そして副会長に田畑委員を推薦いたしたいと考えております。推薦の理由といたしましては、朴委員におかれましては、従来よりご指導を賜っておりまして、名張市の状況を熟知されております。現在の当市、また世界を取り巻く環境の状況や対策など、委員がお持ちの最先端の知識と、それと当市の状況を基に当市にマッチした計画の策定をおまとめいただけるものと考えております。

また、田畑委員におかれましても、従来よりご指導を賜っておりまして、商工会議所の環境問題委員会会長としてご活躍いただいておりますとともに、ご自身が経営される事業所におかれましても、三重県の環境認証制度M-EMSを取得されるなど、環境問題のご造詣が深く、事業者の、また市民の視点からご指導いただけるものと考えております。以上のことから推薦させていただくところでございます。委員の皆様、いかがでございましょうか。

○委員

異議なし。

○事務局

ご異議がないようでございます。ありがとうございます。それでは、会長を朴委員、そして副会長を田畑委員にご就任いただくということでよろしく願いいたします。

それではお二人につきましては、ここで指定のお席へご移動をお願いいたします。

（2）快適環境基本計画の諮問

○事務局

それでは引き続きまして、市長より本審議会でご審議をいただきます、新たな名張市快適環境基本計画の諮問を行います。

○市長

名張市快適環境基本計画について（諮問）

名張市快適環境基本条例第12条第2項の規定に基づき、名張市快適環境基本計画について、貴審議会の意見を求めます。

名張市快適環境審議会会長 朴 恵淑 様
名張市長 亀井 利克
どうかよろしくお願ひいたします。

(3) 会長・副会長あいさつ

○事務局

それでは名張市快適環境審議会規則第5条第1項に基づきまして、会長が会議の議長となりますことから、これより先の議事進行につきましては、会長にお願いをしたいと思います。よろしくお願ひをします。

まず一言、会長と副会長の方からごあいさついただいて、その後進めていただけますか。よろしくお願ひいたします。

○会長

改めまして皆様、どうかよろしくお願ひいたします。先ほど亀井市長からお話がありましたように、亀山、それから名張、いろんな地域では今、新たな環境基本計画というものを作成しているところでもあります。特に名張においては、環境それから子育て、男女共同参画においても、亀井市長はトップランナーで走っておられ、第二次なばり快適環境プランも平成19年、ちょうど今年で10年目になるので、これを変えないといけないということになります。素晴らしい、あの当時もここで立てていた、12、13項目の柱というものは、その後いろんな三重県の市町の環境基本計画のひとつのモデル、サンプルみたいなものになっているのを覚えております。環境基本計画は名張市の環境のこれから、ひとつの憲法みたいなものでありまして、結構重いものではありますが、地域に根差して、しかも世界も今、目まぐるしくいろんな状況が変わっていく中で、世界のどこの地域においても、地方自治体として、最先端で誇れるようなものにさせていただければと思っております。それには会長だけの力では、とてもじゃないけれども重くてできませんので、田畑副会長、非常に仕事のことが分かる方であり、中小企業でもM-EMSという、先ほどの話にありましたが、そういったマネジメントシステムを実践をしておられる方が副会長ということは、非常に心強いと思ひますし、何より委員の皆様は本当に仕事のことを、明るだけでなくて、世界に向けてもいろいろ発信ができる方々で、亀井市長はじめ、皆様のおかげで、これだけ素晴らしい委員と一緒に仕事ができる環境をつくっていただきましたので、これからも頑張らせていただきますので、どうか力を貸していただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○事務局

ありがとうございます。それでは田畑副会長。

○副会長

先ほどご紹介いただきました、副会長を拝命いたしました田畑でございます。朴会長のもと、また委員の皆さんのご指導、ご鞭撻によりまして、この任務期間、しっかり頑張っていきたくと思ひますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

○事務局

ありがとうございました。

ここで市長が公務の為、退席をさせていただきますのでお断り申し上げます。

○市長

それではよろしく願いいたします。

○会長

では事項書に基づきまして、平成27年度第1回目になりますが、名張市快適環境審議会、進行させていただきます。

（４）快適環境基本計画の策定について

○事務局

資料に基づき説明

○会長

ありがとうございました。ただいま資料1に対する説明がありました。質問コメントなど、よろしく願いいたします。

○委員

策定スケジュール等々、筋書き通り進んでいけばいいですが、私は地域代表として今回初めて来ました。いろんな環境を含めて、私も勉強不足な点がありますが、例えば市がこういうものがある程度作成し、それを、どうやってやるのか、それぞれ、商工会議所もありますし、いろんな団体がありますが、やはり地域としては、地域がどんなことをこれに関してやっているかというのをよく見ていただいて、また名張15地域、それぞれ環境が違いますので、そういう中で基本的なことを1回見ていただき、声を聞いていただいて、それが最低限で、もう少し大きな環境問題というのはあるか分かりませんが、基本的にはそれを入れていただいて、いろんな審議を今後進めていただけたらと考えています。言っていることが分からなかったら、いつでも質問してください。よろしく願いします。

○会長

ありがとうございます。コメント的な部分でしたが。

○事務局

分かりました。おっしゃっていただく通り、計画が計画だけで終わってしまうようではいけません。私どもとしましても、環境、農林などそれぞれの分野から委員を出していただきまして、ワーキングチームをつくり、その中でやっていること、それから、これからもっとやっていただきたいところも含めまして、そのたたき台をつくらせていただいたので、まずそれを見ていただいた中で、特に委員さんにおかれましては、それぞれの地域の活動、それから市民の視点というところからご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○委員

その背景には、3、4年前に15地域それぞれが地域ビジョンをつくられてまして、

それに基づいて、自然環境もありますし、いろんな形で各自治会が動いています。そういう意味で、検証ではないですが、どういうことをやっているのかということをご理解いただいて、これを充実した内容にさせていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

○会長

よろしくお願いします。

○委員

僕だけ所属団体のところが公募委員ということで、どんなところに関心があって、どんなことをやっているのか分からないので、後で時間をたくさんもらって言いたいとは思っていますが、トータルでひとつだけ、「環境」という言葉は、日本語では、多分、明治10年ぐらいにつくった言葉だと思うのですが、「環境」という言葉を聞いたら、みんな解釈バラバラです。僕は市民の委員として、暮らし全般に関わることを全てを「環境」だと思っていまして、そういうことから言うと、領域の中に白点々がございますが、僕は一応専門を言いますと、景色屋・景観屋です。これが白点々になっていて、ここへ来たのがちょっと場違いかなということのないように、環境全般をこの委員会で話してほしいというふうに希望します。よろしくお願いしますと思います。

○事務局

おっしゃっていただく通りで、平成4年ぐらいに快適環境プランをつくった時は、名張市に総合計画が当然ありましたが、本当の総合計画というのはこの快適環境プランでした。実際は、その当時の総合計画というのはあってないみたいな形で、名張市の環境は、今おっしゃっていただいた生活環境をひっくるめた環境をどう進めていくのかを示したものが快適環境プランで、そこに快適とついています。そして、各分野でそれぞれの計画が出てきて、それとの整合もありますし、その中で、この計画を同じように、農林なら農林分野だけ、都市整備であれば、都市整備の分野だけの計画というような手法も考えられたわけですが、今、委員がおっしゃっていただいた通り、やはり環境というのはもっと広いものだというお話も会長からもいただいた中で、各分野の計画がありますので、進捗についてはそちらにお任せするとしても、やはり、快適環境プランの中にそれらを入れていこうというような考えでございます。

○会長

大変重要な部分です。

○委員

当然今言われたように、この環境は自然だけではなく、住環境等々あると思うんですけど、安全・防犯、いろんな形の自分の生活環境に関連してきてますので、これをザクッと読ませていただくと、ものすごい事項で大丈夫かなというほどありますが、皆さんのいろんな声聞きながら、進めていきましょう。

○会長

その他にありますでしょうか。

○委員

私、知識も経験も不足しているような、行政として参加させていただいているのに、未熟で申し訳ないですが、私もこれを読ませていただき、確かにさきほど会長がおっしゃられた通り、本当に他の市町のサンプルになるぐらい充実した内容かとは思いました。ただ、この時代に今私が身近にある県のいろいろなものを見ると、食の安全とかまで入っていることには若干自分の中で違和感を感じました。ここまでいくんだというような感じで。三重県でも、この24年25年にいろんな基本計画であったり、アクションプログラムとか条例とか改正されて、地球温暖化の条例もできました。私はここに、三重県のそういう計画とか条例とかとの整合性をとるのも任務のひとつだなと思って座らせてはいただいています。地域の方の実態を知った上での計画ができたらいいなというのは、すごく感じます。よろしくお願いします。

○会長

ありがとうございます。

今の資料1は、どういう背景、コンセプト、それからどういったような環境を捉えるのか、大きく市は4つの分野での環境を網羅した形で考えるということを表示していると思います。1つがいわゆる環境といえば自然環境と言われる、山、川、海はないですが、そのような私たちの身近な自然に関わる、空もちろん、土もそうですし、自然環境と言われる部分を網羅していく。そして、もう1つが生活環境として、本当に身近なところでの、例えばゴミ問題のような生活環境を考えていく。そして、もう1つが、社会文化環境といってもいいかもしれません。いろいろな社会システムができていの中で、どういう連携を組みながらやっていくのかという部分も踏まえたこと。もう1つが、ここに校長先生がいらっしゃいますが、教育環境も大事であると。学校教育のみならず、生涯教育としても、みんなで学びながら実践していくような、そういった人を育てるといっても踏まえて考えると、本当に幅広くて、全ての部分を全部ここでやるのかと言われるほど広い部分になりますが、私が話をしたと思いますが、快適環境プランは、最初平成4年度は何にもない中で、市の総合計画、マスタープランに近いような形でやっていて、これは決して悪いことではなくて、時代を先取ったということでは、素晴らしいひとつの道筋をつくったということになります。

今、総合計画も同時進行、あるいはもうちょっと早く進んでいるのですか。

○事務局

今年度末に策定です。

○会長

そうですね。そのようにグランドデザインができていっているものの中から、第二次では12のジャンルがあって、その中で白抜きになっているものをやらないということではなくて、より積極的にやれるように市内のいろんな部分と協力しながら、また、網をかけているところは、ここでやらないとできない部分を主にピックアップして、全体を太い点線で囲んでやっていく、これが1年がかりで第3次になるということ、説明も良かったと思いますし、理解もできたと思いますが、具体的にそういうことを

市民が自ら自分のこととしてやっていく為には、どのような形で伝えないといけないのか、分かりやすく、文章化するなり、図形化するなり、いろんなことやらないといけないので、すでに市の方では、たたき台ということで、資料2が出ております。今こういう共有したコンセンサスの基に、どういう柱でやろうとしているか、まだ粗削りですがされておりますので、これも市の方から説明いただいて、具体的などころに入りたいと思います。

(5) 快適環境基本計画(たたき台)について

○事務局

資料に基づき説明

○会長

ありがとうございました。

説明するの、大変だったと思いますが、聞くのも大変でした。論点整理をさせていただいて、それから皆さんの忌憚のない話をいただければと。今日ここで全て全部決めることは到底無理ですし、もう1回、2月頃になるでしょうか、その時には具体的な話をさせてもらおうということになるので、皆様に宿題が出るかもしれないと。年末年始とかにもこれ読んでいただきます、というような形での宿題が多分出るだろうと思いながら聞きました。そこでまず、早急に変えないといけないものが、私の中でいくつかありますが、この今現在の何%っていうのは、おそらく市がもっている資料や、それからあと10年ぐらいを見込んだ目標値は、ここでは市民アンケートは取らないのですが、総合計画をつくる時には必ず、アンケートを取ったはずで、その部分からこちらに持ってくるということをプラス、これをやることによって、どれだけの削減効果があるのか、どれだけの市民がたくさん関わるようにするのかということには、あまり恐る恐るではなくて、チャレンジ的な数値目標を掲げて、まず1番当たらず障らずやれるような目標値は、今現状値があって、目標値があって、チャレンジ的にやるとここまでできて、その真ん中あたりだったらだいたいここまでだという根拠がないと、これは絵に描いた餅です。これを見てみると、あるところは、740人と書いて20倍も30倍も40倍もやるっていう形になる場合もあれば、1回だけやっていたものを2回やるんだと言って、それはもちろん1から2だから200%になります、そうではないでしょというところもあり、あまりにも混在しているので、市への宿題ですが、もう1度この根拠、目標値を中間的に平成33年に出してる目標値プラスそれから5年ぐらい経って、要するに真ん中の中間見直しを考えたことからのものだと思うんですが、そこがちょっと理解できないものが結構あります。例えば、名張市はゴミについては29市町の中でトップランナーです。一番出さない。700gぐらいの勢いでやっているのですが、一番やらない熊野が1日1人当たり1050g。名張市民ははるかに30%以上のものに達しているんですが、踏ん張ってですね、これ名張が目標なんです。その名張が10年後は720gなんてありえないでしょう。ドイツのエアランゲンとかがやっているように480gとか500gとか、

そこをきるのか、できないのかを真剣に考えたうえでこうだと言うなら分かるが、これでは本当に何もしないということを宣言するのと全く同じです。トップランナーになったが為にやりにくいのは分かるが、それではこれから誰も見本にしません。むしろ名張が熊野のゴミを見本にしますか、ということです。今誰も熊野の人いないからいいですが、みんなが名張を見て今頑張っているのに、名張はいきなり何もしないということを見せるようなことは腑に落ちないなあ。そういう部分をよく見ていただいて、それでもできないものに関しては、どのようにしたらいいのかをこちらで出していきたい。数値に関しては宿題で、もう一度吟味していただきたいと思います。

厳しいことを言ったので、これからはほぐれるような話をしないといけません。すごいなと思ったのは、コンサルとかに普通委ねますが、委ねることなく、みんなで職員自らつくっているんですね。これは部長、ときたま美味しいもの食べさせて、やる気を起こさない。これは本当にすごいことなんです。だから大変なことやっているという自負を持ってやっていただければと思っておりますので、ちょっときついことを言った後、あまり褒めるのもですが、よくやっておられます。ただ若干、素人的なところが見えます。書き方も一生懸命書いていますが、市民がこれを読んでくれるかという目線から見ると、ひと皮むけ、ふた皮むけ、ここは読んでほしいというところのメリハリをつける作業がまだ残っています。皆さんにこれから忌憚のない意見をいただきたいので、何ページからでもかまいません。よろしく願いいたします。

○委員

8ページの「①市民・団体による活動の推進」について、今後のこういう社会によってはいろいろな住民活動は大切なことになってくると思います。とりあえずここで気になったのは、市民活動補償制度。これは名張市で従来からありますが、今、年間500、600万でやられていると思います。それがまだ決まっていないですが、対象を縮小したいという案が出ているように聞いています。多分200万、300万です。というのは、基本的には参加するスタッフは対象になるが、対象にならない人が増えてくる。例えば、間違っているか分かりませんが、民生委員さんが各地域で高齢者対象のサロンをやっています。そこにスタッフは何人か来ており、そういう人が対象になって、そこに参加している高齢者がもし何か見つまずいてけがをしたら今後は対象にならないということ。それと子育ての中でお母さん方が赤ちゃんを連れて何かの活動に参加します。そのスタッフは対象になるけど、ならない。当然赤ちゃんもならない。未就園児もならない。それについて私は異議の申立てがあるので、訂正されると思いますが、この辺をよく理解して、市民活動補償制度がありますからというようなことはやはり中身を審議してやってほしい。現実にそういう問題が出てくるんじゃないかと思っています。

○会長

それについて。

○事務局

はい、分かりました。

まず私どもも、その件についてお聞きをしております。ただ現在検討中ということ
で確定はしていないと思っております。おっしゃっていただく通り、私どももこの件
につきましては、担当しております地域部と相談し、確認をさせていただきながら検
討をさせていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○会長

それでは引き続き、はい、どうぞ。

○委員

私はここに書かれている数値目標だとか、そのへんは判断できない部分もあります。
こういう専門家じゃないですしそこまで勉強する気はないので、行き詰ったらそれぞ
れの課題、項目を1回よく読ませていただいてまた意見させていただきます。よろし
く申し上げます。

○委員

言いたいことがいっぱいありますが、人数を考えて自制したいと思っております。

1つは、豊かな自然環境という言葉がいっぱい出てきますが、僕は名張で産まれて
名張育ちのネイティブの名張人です。印象からいったら圧倒的に自然環境とまちの景
色が劣化していると思っておりますが、僕、実は総合計画の委員でもあったんですけ
ど、これがちょっと遠慮して発言したせいとか、気迫がなかったのか、全然それを汲み取
ってくれなくて、本当に昔を知ってる僕から言ったら、今、豊かなんかな。つまり自然
環境の現状評価、これ目標値のところの目標項目が圧倒的に少ない。骨格に関わるよ
うなところは、水ではクリーン作戦に何人参加したか、あほらしくなるわという感じ
がしてまして。例えば市民との活動なんて、僕自己主張するわけじゃないですが、
地域づくり組織で環境に関わった回数、僕は「川の会名張」というので一生懸命させ
てもらって、市役所にも提案、どこへも提案させてもらう、誰も参加してくれない。
けれどもこれは、僕の活動は評価はされてないですね、ここの数値には。

自然環境の現状評価というのは、僕、一番関心があるのは国道沿いの景色ですけど
も、これの現状評価ってどのようにするのか非常に難しいとは思いますが、すぐアン
ケートって言ってしまったらあかんと思うんです。アンケートでは、昔を知らん人
にとってみたら、今良いと言ってしまうので。

どうしていいかが分からないが、現状評価をきちんとして目標値を持たないと。現
状評価してなかったら目標何にもならんんじゃないかというふうに。難しい宿題なん
ですけど、みんなで考えていってこれをして。それから、目標後の項目を増やすこと
と、現状評価を本来しないといけないところがいっぱい抜けてる。景観の部分とか、
というふうに思います。

○事務局

分かりました。

また、具体のご意見をいただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございます。

○委員

同じような話で恐縮ですが、この目標を設定したのは、二次の時はなかったもので、新しい取組ですね。会長からも話がありましたが、いろいろ問題と言ったらおかしいですが、まとめ方についてはいろいろあると思いますが、これはとてもおもしろいと思うので、ぜひ活かしたらいいと思っています。あと、やっぱり評価するのはすごく難しく、目標値について、本当にその目標値って何なのか、何もしなくても達成されるようなものなのか、いやいやかなりの努力のあかつきにこうなるんだというのが全然分からない、また、そういう目標を設定しても結果として、それがどうなったのかがよく分からないものがたくさんあると思います。例えばいくつもあったのですが、19ページの農薬対策のところ、ゴルフ場なんかは農薬を使わないのは分かりますが、指導者を増やしても減るのか、減ったかというのはあまり関係ない数値で、具体的には、指導者は適正な指導をしましょうということだから、適正な指導をどれぐらいしたのかを見るかもしれないが、そうではなく、アウトカウントしてほしいのは、実際にそういった肥料や農薬を使うのが減ったというところがきっと欲しいのだから、そういうところを目標というか、数値として出すとおもしろいだろうけど、なかなか難しいかもしれないですね。

多分みんな同じこと思われていると思いますが、いろいろ意見が出たことに委縮せずに、ぜひこの目標設定というのは今回新しい取組で載せていってもらって、ただ、出したのが結果的にいい方に向かっているのか、悪い方になっているのか分からないですけど、例えば、ヌートリアのやつなんか、順次に増えていくような目標数値になっていたと思いますが、個体数が減ってきたら当然減っていくのであって、少なくなっていくことが本来の目標だと思いますが、ここでは増えていっている。たくさん獲って成果が上がったということが言いたいのだと思いますが、というようなところがあると思います。よく考えて、しかし、設定するのは非常におもしろいと思います。

○会長

ありがとうございます。

○事務局

確におっしゃっていただいたようなことがあります。設定して今度はどのように評価するのか、できるのかというところがありまして、本当に見える部分で設定をしなければならないと。そうでないと目標を掲げるのはいいんですが、評価がしにくい、どうしたらいいのかということも、やはり庁内のワーキングの中でも論議がございました。今、会長の方から宿題もいただいておりますので、また検討させていただきますし、各部署とも相談させていただきますが、また皆さんに、こんなのはどうかとか、ここはこうしたらどうかとかいうご意見もいただければと思いますので、よろしくお願いたします。

○会長

皆さんからの意見は非常にフレンドリーでいいコメントしていただいて嬉しいと思います。やっぱり数値がものをいうということ、数値を定性的に考えるか、定量

的に考えるか、人の数で考えるのかとか、様々あるので厳しいのは分かりますが、見直しをかけていただきたいと思います。

それから皆さんにこれだけをお願いしたいのが、3ページ、イメージ、キャッチになるもので、正直に言って第二次なばり快適環境プランはとてもよくできているのですが、ただ何も見ないでこのキャッチだけ見て、「心なごむ清流のまち」と言った時に「名張」というふうに思うのは素晴らしいと思うけど、私みたいに外の人間から見ると、「心なごむ清流のまち」といったら、「宮川」かなとか「四万十川」かなとか、キャッチだけパッと見た時に、名張のイメージはなかなか出ない。よく読んでみると「名張」って分かりますが、子どもにも分からせて、子どもが10年後には成人になって小さい子どもたちもみんな、名張を背負っていくような人たちに育てているので、その人たちも、名張をどのようなイメージでやっていきたいのというところを、難しい宿題ですが、今、市からは苦しまぎれに、大変だったなと思いますが一応案が出ているので、これを活かしてもいいですし、もっといろんな形でこの望ましい環境に対するイメージ、これが最後の魂を入れる作業なので、ぜひとも1ヵ月、2ヵ月考えていただきたい。

もう1点、1番最初の目次でもいいですし、あるいはもっと分かりやくということであれば、こちらのページの5、6、この目標目的実施計画、名張市は、ISO14001の名残で非常に強いはずです。目的、目標それから実施計画、非常に得意とするようなもので、5つの目標に対して、実施計画はいくつというように非常に分かりやすくしているのですが、順番なんですね。一般の人が考えると、環境と言うとまず自然環境から生活環境から文化社会的な環境から教育から、どういう推進体制でいくのっていうことをイメージしやすいと思います。ただこれは非常にオーソドックスでいいものだと思うんで、まず1番最初は、バーンと誰がやるのということここでは言っています。これは戦略的にとってもいいとは思いますが。後ろまで読まないとは私は何にもしなくていいのかと思ったら違う、ということよりは、最初からみんなでいっしょにやるんだということに足すのはいいんですが、その次、生活環境があって、自然との共生がきて、環境負荷がきて、それから安全安心、良好のようなこの流れがいいのか、これも皆さんに知恵をお借りして、どういうストーリーをつくれればスーッと入れるのかということ、特にイメージにかかるキャッチと、ここの全体の流れ、章立てはどうもっていったら読んでくれて、やる気を起こしていただいて、一緒にいい名張をつくるとなるのか、そこは非常に重要な部分でもありますので、ぜひともよろしく願いしたいと思います。こういう論点整理のところから、時間がありますので、また少し意見をいただきたいと思います。

○委員

教育ということでおっしゃっていただきました。10ページの環境教育について読ませていただきました。目標項目がないということで、非常に難しいんだろうなということをおもいます。学校の中でも、児童に生活アンケートをとりましたら、環境教育については意識をして取り組んでいるという肯定的な回答が結構多いです。90%は

ゆうに超えています。例えばどんなことをしているかということ、節電とか節水に気をつけているかとか、ペットボトルのキャップ回収、ゴミ拾いをするとか、そういったことで広いので、どれってひとつずつのアンケートじゃないですから、回答も高いかなと思います。

結局私たちが目指すのは、先ほど会長さん言われましたように、10年後は成人になっている子たち、特に小学校で10歳、二十歳になりますので、名張市を背負って立つ、市民としてどのように市が変わっていくかということが、大きな目標というのか、そのチェック項目になるのかなと思いますが、非常に難しいと思います。書物にしても予算の中で購入していますし、総合的な学習を生活科という学習の中での取組も学年に応じて、水質保全等もやっております。そしたら、やっているから次はどう進めていくのかということが課題になるかと思いますが、なかなか目標項目を設定するのは難しいということは実際あります。本校でも近くにシャックリ川があり、ホテルの会というのがあります。そこに子どもたちに参加するように促すのですが、なかなか夜のことがあると親御さんがということになって、参加も少ないようです。ただ4年生が学習する中で、シャックリ川にホテルということで、地域の方に直談判して話を聞くと。それを聞いた教師が付いて行くというように、子どもが主体に活動をしていることを考えると、地元、自分たちの自然を大事にしようとする子どもたちが少しずつでも育っていくかなと思いますが、それは普遍的なものではないということも確かです。

あと1つ、子どもたちと話をしていると、最近太陽光パネルがかなり設置されています。165沿いでも今まで森林だったところが、こんなに広いところで何するんやろうと思ったら太陽光になると。やっぱり環境と言っても、どちらかが天秤にかかっている、山々がなくなっていく、校庭に鹿が、というようなことも実際あるということで、いくつもある環境で1つたてると1つが、とバランスがちょっとずつ崩れていくのは仕方のないことかなと思いつつながらこれを見せていただきました。

○会長

よろしく願いいたします。

○委員

今、学校の先生からもお話がありましたが、私たちは小さな団体ですが、子どもたちと一緒に自然の中に出かけて行ったり、環境活動をしたりということを10数年来やっております。その中で感じることもいろいろありますが、今日初めて実はこのたたき台を見せていただいた中で、あまりにも多岐にわたることで何からお話しようかというところと、先ほど会長さんがおっしゃったように、持ち帰ってよくお読みになってというスパンをいただいたので、それからとも思いますが、1つ、先ほどのお話の中で、現状をまず知らないというお話があったと思うんですが、そのところで、市民の方が環境に関してどういうふうに意識を持っているかという部分を、どう広報していくかもすごく大事だと思います。というのが、私ども10年来活動してきた中で、その第二次プランみたいなことで支援があったことは、活動の中で、実はあまり

感じてこれませんでした。そういうことをベースに市が支援してくださっていたということを知らず、気づかずに活動してきたものですから、そのギャップはどうなんだろうというところもあるんですが、そこはやっぱり埋めていくというか、まずこういう支援があるから、皆さんどうぞやってくださいと、そういうもって行き方も必要だと思います。今はやりのGISみたいな形で、まず現状をどんな感じなのかというマップみたいな形で、まず市民の方に知ってもらって、では、5年後10年後はこういう目標だということ、見えるような形でプレゼンしていくとか、そして、それに伴って、もっと大きな視点で、例えば江戸時代の社会なんかは本当に素晴らしい循環型社会だったと思うんですが、そういうことを名張は今どういうふうにしようとしているのか、全体的に名張市が循環型、それから生活環境快適の為にどうしているのか、見えるような形でもっていければ、市民の方ももう少し見やすくなるのではないかなと感じました。また大きなところばかりで申し訳ないですが、感想です。

○会長

ありがとうございます。

もうひとつ報告事項もありますので、どうしましょうか。今日はまず、市の説明から、今後の10年のやるんだという強い意志というのは理解できたかと思いますが、いろいろな具体的などころに入ってくると、まだまだ課題もあると。その部分に皆さんの力をぜひともお借りしたいので、次の2月に会うまで、書き溜めるのではなくて、気がついたら事務局に頻繁に連絡していただいて、事務局もどんどんバージョンアップしていくようにしていただくということで、どうでしょうか。

○事務局

ありがとうございます。そうしていただくと非常にありがたいです。2月にまたお集まりいただく中で、いただいた問題点やご意見を我々なりに答えも出させていただったり、できないものはまたご協議いただくということでお願いをできればと思います。今日の事項書に、電話番号やEメールのアドレス等も書かせていただいていますので、ぜひこちらの方にご連絡いただければと思います。

○会長

私も今同じようなことを言おうと思いました。事項書に連絡先。事務局、これは素晴らしい。会議があるから集まってくださいという連絡事項にはあるけど、事項書にはなかなか載せない、やる気いっぱい、満々と分かりましたのでよろしく願いいたします。

○委員

1点だけ。先ほどご説明の時に、市民、地域の役割と書いてありますが、言葉をもう少し、気持ちは分かるんですが上から目線なんです。

○事務局

はい。それは気になりまして、役割としたらいいのか、取組例とか、そういうのがあるのか。

○委員

参画とか。何かもう少し書かないと。行政の役割はそれでいいです。

○事務局

はい。ありがとうございます。

○委員

進め方の同調意見ですが、先ほど言いましたように、僕は総合計画の委員をこの間までさせてもらっていて、非常にストレスを残したんです。それはつまり、たまたまいただいた名刺のメールに送っていましたが、このようにメールの連絡先がなかったんです。僕は来るたびに、自分のペーパーだけ皆さんに配るようなことをしていたんですが、今こんなふうにメールでいろんな意見を、メールを使わない方もおられると思いますが、非常にいいと思うのと、もう1つはもっと理想的に言うと、メーリングリストつくってもらおうと、この委員さんがこんな意見を言われたとかいうのを。それから来年2月までメモしておいてって、すぐ忘れるので、思いついた時に出せるというのはすごくいいと思うんです。そこまではできるかどうかは別にして。今のは全く同調意見です。

○事務局

ありがとうございます。そのように進めていただいて、課題を先に出していただくと、我々、進め方としてスムーズにいきます。またここで論議していただくのも深まると思います。

○委員

そうですね。もう1つだけなんですけど、その時に、僕は前も圧倒的に少数意見だったので、これは委員会として出す意見で決まっていくというのは当然承知しているんですが、少数意見も後から公開できる、検索できるような記録を残してほしいと思います。多数で決まってしまうたら、僕の発言はどこへ消えたのかというのは、せっかく来させてもらうのに嫌やな。よろしくお願いします。

○事務局

分かりました。

○会長

時間があれば、もっとたくさんの意見をいただきたいんですが、実はその次に残っている報告事項も無関係ではない。報告6がまだ残っているんですが、(1) 第二々なばり快適環境プラン実行計画平成26年度の成果報告。それから(2) 平成26年度の名張市のEMS取組の状況報告。これは無関係ではないので、また後に話させていただきますが、審議事項の1番上の基本計画に関わるものとは違うものとして、重要な部分だけ考えていきたいということで、時間あんばいとしてはこういう時間にさせていただいたんですが、報告事項に移らせていただいて、報告いただいて、また基本計画に関わるものも絡んで、意見をいただくということでよろしいでしょうか。

(6) 報告

①第二次なばり快適環境プラン実行計画平成26年度成果報告について

○事務局

資料に基づき説明

○会長

ありがとうございました。これについて皆さん、今後のこともありまして、この膨大な作業をするのはいいんですが、それをどういうふうに活かすのかというところがいつも問題だと思います。一応今の説明からは、しょっちゅうしていなかった、大幅にやらなかったっていうのは、今のところはないということであったと。で、評価がまだできていないのは。

○事務局

網掛けの部分ですが、もう取組が終わったとか、実際にもう実施する計画がないというようなものにつきましては、評価してございません。

○会長

分かりました。

○委員

この評価は誰が出しますか？何に基づいてですか？

○事務局

これは、庁内の担当する部署で出しているものです。市役所の中での、行政での取組状況です。

○委員

ということは、市民の感覚、住民の感覚とちょっと乖離あるのと違いますか。それをこのデータで評価すると間違ったことになる。

○会長

これは私から説明させていただきます。細かいところを説明するのではなくて、私が間違った認識だったら教えていただきたいんですが、かつて北川県政の時に三重県は環境先進県、NPO先進県などいろいろありまして、ほとんどの市町、学校がISO14001という国際標準規格、これはかなり厳しいものですがPDCAサイクルをまわさなければならないということで、名張市も当然ISO14001を取得しました。あの当時63の市町がほとんど全部だったかもしれませんが、1つ、2つ抜けていたかもしれませんが、これは世界的にも珍しく1つの県のほとんどの市町がISO14001に登録したということでありました。三重大学は若干遅れて、2007年にISO14001をとることになりまして、ここで問題が生じるのは何かというとPDCAサイクルという、ありふれた計画を立てて、実行して、内部監査し、それから見直し、この内部監査が問題でありまして、緩やかな内部監査と厳しい内部監査、今、委員さんがおっしゃるように、庁内の中でも「いいんじゃない？」って言ってやっているものと、厳しくやっているものとあります。そこをお金がある時には内部監査員を要請して内部監査員がまわって、同じ基準でやったということもありました。三重県庁はそうでした。ところがお金がかかりすぎて、負担が大きすぎるので今は全

部やめました。では、やめたからやらないのかということ、いろいろな市町が今もずっとやっているんですが、ここで言いたいのは何かって言うと、あまりこだわらなくていいんです。つまり330項目、これが多いか少ないかは分かりません。ただ著しい環境側面ということ、ISOにはそれもありまして、300項目の中で名張市が市民の安全など何かの為にここはやらないといけないということを各部署ごとに、1個や2個ぐらいはやるという形で、やるんだったらそれを主に見るということならば、まだいいです。これ、さっきおっしゃられるように、基準も明確ではない中で、まちまちの中で、出すの出さないということ、皆さん大変だったと思います。さっと出してくれるところもあれば、なかなか出せないところもある、それができたからと言って、二重丸だからといってバンザイ、△だからダメだとはできない要素があります。どう頑張っても、例えば大気汚染濃度を0.04PPMに上げましょうというのは、今当たり前にできるけど、若干何かがあったら、車がバーっと通ったら上がってしまう、そういった時にあなたの責任でしょというのはできないものもあるわけなんです。そういうことを考えて、今後、これを庁内で考えていただきたいんですが、審議会へ出していただくのはありがたいんですが、これが基本計画や実行計画に使っていくのに、環境の皆さんにとってプラスになるんだったらやってください。そんなに大変な思いのわりに、例えば環境基本計画をつくる時に、目標を1つ立てるのも大変だということであるならば、ここに関わるエネルギーを少なくする方法を考えて、最初からゼロにしたら困るので、少し縮小しながらやっていくような方法でやっていくのがやぶさかではありませんし、それができなかつたら、ISOはもうありません。ISOは何でできなかったということをつきとめるものではないんです。できなかったからこの措置をとっています。その結果は1年後出ますと言ったっていいものなので、あまり自分の首を絞めるようなことはやなくていいので、そのへんを考えていただきたい。部長もよく分かっていらっしゃる、いろいろ330項目について私たち、今ここで見たって分かりません。だからそこはそういうふうな感じでうまくやっていただきたい。

4についてですが、これは必要かなと思ってますんで、同じものでも、必要とするものは使いたいなということで、3はあまり議論もせずに動かしていただいて、4のところに意見をいただきたいと思っていますので、ちょっと読んでいただけますか。

○事務局

はい、分かりました。

②平成26年度名張市EMS取組の状況報告について

○事務局

資料に基づき説明

○会長

ありがとうございました。

同じEMSでも、環境マネジメントシステムのEMSはみんなであればいいという

感じます。ここで使えると思うのは、同じEでもエネルギーのEにして、エネルギーマネジメントシステムに切り替えることを考えると、私たちの基本計画の低炭素社会、二酸化炭素のところ、今どうなっているのかが見えてくると。だからこれは使えるだろうと思っています。ただ3%、分かります。特に原子力発電ができなくなり、電力係数が上がっているからどんなに節電頑張っても、二酸化炭素が増えることになるんです。それはそれですが、ただ3%というのはあまりにも少ない。これは目標ではなく実績としてプラス1だ、マイナス1だということならですが、一応見かけ上、いろんな市町は、マイナス30%、マイナス20%、マイナス10%。基準年度を何にするかで変わるけど、三重大学はマイナス30%達成しました。県も10%、16%。それに比べると、3%というのはあまりにも情けない。情けないというのは悪い意味じゃないです。真正面で正直にやるからこういう形になるので、ここをこれから、幸いCOP21でどうなるか国が頑張っているところで上積みしていけばいいんで、見かけ上、例えばこの数値なら、私ならマイナス29%というふうに書けるんです。国が26%もってくれば、ここは少し上積みして、3%、29%じゃないですか。この数値が1人歩きすると、名張は何だよということになるし、しかも、バイオマスタウン構想だ、何だといち早く言ってるのに、他の市町に遅れてしまいそうなものも見えてきて。

部長に伺いたいのは、再生可能エネルギーも含めて、エネルギーは環境がやるんですか、あるいは商工がやるんですか。

○事務局

それもいろいろ議論がありまして、新年度の組織機構でどのようにされるか分かりませんが、現時点では環境部局でやっていきますということです。

○会長

それは英断だと思います。苦しいところを乗り越えると、絶対プラスになるとこだと思いますので、持っていかれないようにしていただきたい。

○事務局

持っていかれないように、分かりました。

○会長

というのは、これから電力自由化などいろんな形でお金が入ることもありえます。今県もそうですが、エネルギーに関しては環境でやっていないんです。それは非常に気に入らないし、県民税は私たち1000円ずつ払っています。それを全部農水が持って行って、前の環境森林部の森林がなくなっちゃったから、どうしようもないことだけ環境に残っていることを見ると、名張は厳しいけどずっと持っていただきたい。そうすると絶対プラスになるときが来て、このデータは今後目標をつくる時に使えます。もう少し詳しいデータがあったらまた今度ください。

○事務局

はい、分かりました。

○会長

一応このようにして、逃げないようにして持ってやっていただきたいんですが、皆さんこの数値が私もあまり細かいところを見たって、どこがどうなるか分からないが、一応3%削減したということですね。

○事務局

いいえ、今0.8%削減できました。

○会長

マイナス0.8%ですか。いいです。マイナスになったらいいです。

○事務局

そして、あと平成27年度、今年度頑張って、3%に持っていくのが目標なんです。

○会長

大丈夫。温暖化実行計画やらないといけないので、大丈夫。今、マイナス0.8%ですね。だったら胸張って言ってください。8%だったら良かったけど、いろんな厳しい状況の中で一応頑張ったと。

市のバイオマス構想はどうなっているんですか。やりますか。やりませんか。

○事務局

もう現実問題としては、機能していないという言葉に等しいかと思います。

○会長

それは環境で10年間の基本計画をつくっているから、ちょうどいいんです。COP21でいろんな話が出てくるので、国は絶対できるから、そこを盛り込んでやっていく形にして、2月にできなくても大丈夫じゃないですか。パブコメまで時間がありますし、そういうようなことで、この資料は大切に皆さん、この本冊のところにに入れていただければ。

時間は12時をめぐりにしていましたが、若干過ぎていますが、皆さんトータルでもいいですし、このことでもいいんですが、何かこれはというものがありますでしょうか。

○委員

たたき台の方ですけど、項目だけは会長から宿題をいただきましたが、それではなく、書かれているのかどうか分からないけど、市内のいろんな団体の協働については書かれてるんですけど、名張市と広域の県下だけではなく、あるいは県境する奈良県がありますけど、その広域協働についての項目は。

○事務局

少しですけど65ページの、先ほどはふれなかったですが、計画の推進の中で、計画の推進体制の(2)のところ、広域的な問題などは近隣の自治体や三重県、国など関係機関と連携をはかってまいりますと、ここで少し今のところはふれさせてもらってあります。

○委員

1行。

○会長

今、県、国交省から委員がいらっしゃるが、国の温対法も変わると思いますが、変わると真っ先に地方計画をつくって、それを市町が見ながらやっていくということですが、ここで広域という意味から、まず世界の動き、国の動き、県の動き、それから隣の市町がどうなっているのか、あるいはもっと広域で、今奈良県までおっしゃったんですが、そういうところはやっぱり時にはベンチマーキング、時には連携、ということはあるんじゃないでしょうか。

○委員

具体的に知っているのは、隣の宇陀郡と一緒にモンキードッグなんかをやっていますね。あのお猿を追いかけるワンコの取組なんかは、おそらく都道府県越えては初の事例ではないかと言われてはいますが、こんなにすごいことしているのに連携の話はあるのではないかと。

○事務局

35 ページにピンポイントですが、鳥獣害の追い払いについて、宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会と連携しますということで、本文に少し記載がございます。

○会長

本文のそのところで☆印でも※印でもつけて、そういうことやっているということを紹介するのもいいですね。

○委員

項目立てをしてもいいのではないかとというぐらいのつもりで言ったのですが。

○事務局

ありがとうございます。

○会長

分かりました。

少し時間オーバーして申し訳なかったですが、全体の議事の事項書に書かれているところは、7. その他だけですが、その他に移ってもよろしいでしょうか。

7. その他

○事務局

連絡事項

○会長

ありがとうございました。

ご協力よろしく願いいたします。そしたら私の役目はこれで終わりです。

○事務局

2月の次回の会議でございますが、2月16日の火曜日、午後2時からこの庁議室でお願いをしたいと思います。よろしく願いいたします。